

第6期幸区区民会議第3回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議事次第

日時 2016年12月15日(木) 18時半から

場所 幸区役所4階第4会議室

1 開会

2 議題

- (1) 平成28年度幸区区民アンケート調査について
- (2) 地域の魅力発信に係る他都市事例について
- (3) 調査審議スケジュールについて
- (4) 今後の調査の進め方について

3 その他

4 閉会

≪配布資料≫

- 資料1-1 平成28年度幸区区民アンケート調査(概要版)
- 資料1-2 平成28年度幸区区民アンケート調査(部会関連抜粋)
- 資料1-3 幸区区民アンケート結果 経年比較一覧
- 資料2 地域の魅力発信に係る他都市事例
- 資料3 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュール(案)
- 資料4 今後の調査の進め方について

参考資料 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて

《第3回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)獲得目標》

・今後の調査内容、方法の確認

地域の魅力発信に係る他都市事例

1 「暮らしやすいまち」のPR

◎住みたい街住み続けたい街 持続発展都市を目指して（東京都豊島区）

- ・豊島区は2014年5月、東京都23区内では唯一、「消滅可能性都市」（2040年までに20～39歳の女性が5割以上減少する都市）と名指しされた。危機感を覚えた同区では緊急対策本部を設置して検討を重ね、「女性にやさしいまちづくり」、「地方との共生」、「日本の推進力」の三つの方針を柱に、人口維持・地域活性化に取り組んでいる。
- ・そこで、「持続発展都市」を目指した「女性にやさしいまち」（女性にやさしいまちとは子供や高齢者にも優しいまちを指す）を重点プロジェクトとして掲げ、若い女性をターゲットとして、特設サイト「としま Scope」や、「Facebook」にて情報を発信している。
- ・「としま Scope」では主に働く世代、子育て世代を対象に、「わたしらしく、暮らせるまち。」をテーマに、地域と暮らしの情報や、ライフスタイルの紹介などを行っている。



女性をターゲットにしたPR活動



としま Scope

2 「地域資源」に係るブレイクダウン※

(※：物事の問題や魅力などを、細分化して分析すること)

◎「ロクマル」：市議会だよりを「伝わる広報誌」に（埼玉県さいたま市）

- ・さいたま市では、市議会だよりが市民に伝わっていないという課題を解決するため、市民アンケート調査の結果を整理し、「難解」「紙面が堅い」「議会の臨場感が伝わらない」といった問題を「ブレイクダウン」。広報誌の改革に取り組んだ。
- ・まずは市民に広報誌及び市議会への親しみを持ってもらう為、議員数にちなんだ「ロクヨン」という愛称にタイトルを変更。（現在では議員数の削減に伴い「ロクマル」に。）表紙も区内の日常風景をイラストで描いたものに変更し、第一印象から変えた。
- ・また、「市議会のことが身近に感じられる情報を」「短時間で読めるボリュームに」「見出しを分かりやすく」することに加え、「ポイントを絞って」「文章を分かりやすく」等の点を踏まえて紙面づくりに取り組んだ。



全面イラストの表紙

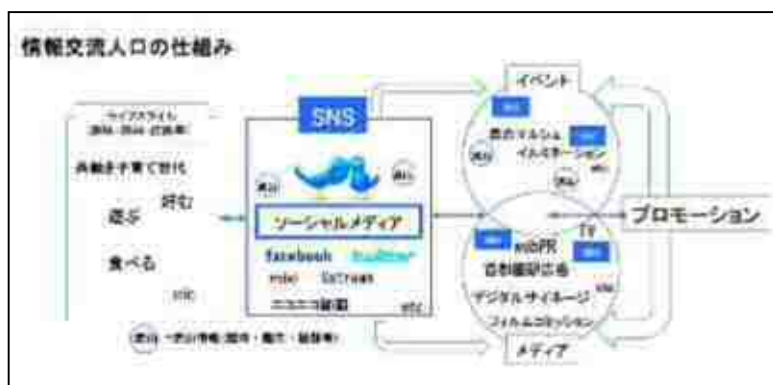


写真やイラストの多く、分かりやすい紙面

3 情報発信に係る先進事例

◎明確なビジョン、マーケティング戦略によってターゲットを絞ったPR活動（千葉県流山市）

- ・流山市は「子育て世代に選ばれるまちづくり」という明確な目標（ビジョン）のもとに、マーケティング戦略によりターゲットを絞り、かつ当該ターゲットに効果的なPR活動を実施している。
- ・人口減少、少子高齢化問題を背景に、持続的な発展のためには「世代循環」が重要と考え、共働き子育て夫婦にPR活動の焦点を合わせた。
- ・「子育て世代に選ばれるまちづくり」という明確な目標（ビジョン）のもとに、マーケティング戦略によりターゲットを絞り、かつ当該ターゲットに効果的なPR活動を実施している。
- ・市の公式サイトについて情報が散在し、欲しい情報がどこにあるか探しづらいということを課題と考えた。毎日多くの情報があふれている状況では、結局埋もれた情報が増えてしまう。そのような事態を避けるため、PRに使うデジタルツールは公式サイト、Facebook、Twitter、駅のデジタルサイネージの4つに絞り込んだ。
- ・広報に係る具体的な取組として、首都圏主要駅への広告掲載により都心に通勤・在住する人にアピール、子育て世代をターゲットにした企画の開催、テレビ・雑誌での情報発信等を行っている。



流山市シティセールスプラン



流山グリーンフェスティバル

4 行政の取組を市民等に広く知ってもらうためのPR活動に係る事例

◎横浜チャンネル（横浜市）

- ・横浜市では市で行っている様々な事業を市民等に知ってもらえるよう、事業の内容を分かり易く伝えるための動画特設サイト「横浜チャンネル」を作成し、広くPRしている。
- ・「横浜チャンネル」では市の事業だけでなく、観光、自然、歴史等に関する地域の魅力のPR動画を配信している。また、市議会の様子やくらし、地域情報も発信している。



横浜市が行う事業のPR動画



横浜市西区の魅力PR動画

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュール（案）

1 審議テーマについて

地域の魅力発信

2 今後の取組の方向性について

- (1) 幸区の魅力となる地域資源の調査
- (2) 対象を意識した効果的な情報発信手段の検討

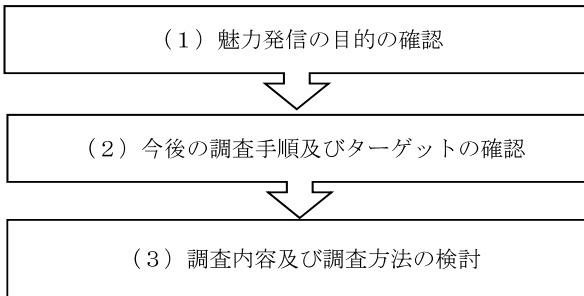
3 部会調査審議スケジュールイメージ

年度	月日	会議名	会議の獲得目標
2016年度	7月28日	第1回区民会議	
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定
	11月24日	第2回区民会議	
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認
	1月31日 (火)	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定
	2月27日 (月)	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	3月21日 (火)	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の報告
2017年度	4月～7月	第6回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の調査 ・地域資源の調査結果の検証 ・発信していく地域の魅力についての確認
		第7回部会	
		第8回部会	
		第9回部会	
	8月	第4回区民会議	
	9月～11月	第10回部会	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力発信に向けた情報発信手段の検討 ・魅力発信の実践的取組
		第11回部会	
		第12回部会	
		第5回区民会議	<ul style="list-style-type: none"> ・提言内容の検討、とりまとめ ・フォーラム実施内容の検討
	12月	第13回部会	
1月	第14回部会		
2月・3月	提言内容の決定 第6期幸区区民会議フォーラムの実施		
2018年度	4月・5月	報告書のとりまとめ	
	6月	区長へ報告書の提出	

1 第2回専門部会でいただいた意見の振り返り

- ・区内でたくさんの取組を行っているが、あまり知られていないのではないかと。取組を知ってもらい、その魅力をより高めていくべきだと思う。
- ・市外の人に効果的にPRするためには、どのような人に知ってほしいか、ターゲットを決めて発信することが大事だと思う。また、区民については、地域の魅力を再発見しPRするなど、発信が重要だと思う。
- ・効果的にPRするためには、ターゲットを絞るべきだと思う。
- ・若い世代に向けて「幸区はこんなに楽しい区」、「住み続けられる区」であることをPRしてはどうか。
- ・幸区は「暮らしやすい区」と言える。交通の便が良く、商業や医療も充実しているなど、便利であるそれを発信してはどうか。

2 調査の進め方



3 調査内容の検討

(1) 魅力発信の目的（例：暮らしやすい区であることのPR 等）

魅力発信の目的について、意見交換メモ

(2) 今後の調査手順及び魅力発信のターゲット

（手順例：ターゲットを絞り込んだのち、ターゲットに合わせた地域資源の調査 等）

（ターゲット例：子育て世代、高齢者 等）

今後の調査手順及び魅力発信のターゲットについて、意見交換メモ

(3) 調査内容

魅力発信の方向性を踏まえ、調査する内容を具体的にイメージする必要がある。

【例】

- 地域資源について
- 世代による住環境へのニーズについて
- 住みやすさ、定住志向などの基礎的な情報 等

調査内容について、意見交換メモ

4 調査方法の検討

・どのような方法で調査を進めていくか決める必要がある。

（内容・実施時期・対象・役割等）

【例】

- 行政（他都市含む）における取組状況を把握するための勉強会の実施
- 幸区進出企業、市民活動団体等へのヒアリングの実施
- 行政等における既往調査等の整理
- 地区・年代毎にイベント等を通じたアンケート 等

調査方法について、意見交換メモ

だい きさいわいくみんかいぎ すけじゅーる
 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて(2016(平成28)年12月15日時点)

さんこうしりょう
 参考資料

	2016年度(平成28年度)										2017年度(平成29年度)										2018年度(平成30年度)		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-5月
区民会議 (全体会議)	7/28 第1回				11/24 第2回				3/21 第3回						だい かい 第4回			だい かい 第5回			だい かい 第6回		
企画運営 会議					11/15 第1回				だい かい 第2回						だい かい 第3回			だい かい 第4回			だい かい 第5回		
人にやさしい 交通安全部会 (A部会)	7/1 第6期幸区区民会議 任期開始										だい かい 第6回	だい かい 第7回	だい かい 第8回	だい かい 第9回		だい かい 第10回	だい かい 第11回	だい かい 第12回	だい かい 第13回	だい かい 第14回			
魅力発信でつなぐ まちの活性化部会 (B部会)				10/5 第1回 10/27 第2回		12/15 第3回	1/31 第4回	2/27 第5回		だい かい 第6回	だい かい 第7回	だい かい 第8回	だい かい 第9回		だい かい 第10回	だい かい 第11回	だい かい 第12回	だい かい 第13回	だい かい 第14回				
	○ 正副部会長の選出 ○ 審議テーマの選定 ○ 部会名の決定 ○ 取組の方向性の決定										○ 現地調査の実施 ○ ヒアリングを踏まえた課題解決手法・実施主体の検討										報告書のとりまとめ		
	○ 審議テーマに関する課題整理 ○ 関係団体に関するヒアリング										○ 課題解決に向けた実践的取組 ○ 課題解決手法・実施主体の継続的検討										提言内容の決定 第6期幸区区民会議フォーラムの実施		
	○ 今後の調査内容、方法の確認 ○ 地域資源の調査の実施										○ 現地調査の実施 ○ 地域資源の調査結果の検証 ○ 発信していく地域の魅力についての確認										報告書のとりまとめ 第6期幸区区民会議任期終了		
	○ 提言内容の検討、とりまとめ ○ フォーラム実施内容の検討										○ 提言内容の検討、とりまとめ ○ フォーラム実施内容の検討										6/30		

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第2回専門部会（B部会）
日 時	平成28年10月27日（木）18：30～20：00
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	<p>●区民会議委員（50音順）</p> <p>阿部稔子委員（副部会長）、板橋洋一委員、伊藤善通委員、神谷修委員（部会長）、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長）</p> <p>●事務局</p> <p>幸区役所 田村副区長</p> <p>幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、佐藤係長、安藤職員、（株）社会空間研究所 中島氏、柳澤氏</p>
欠席者	高橋希委員
傍聴者	なし
配布資料	<p>●議事次第</p> <p>●資料1 地域の魅力発信に関する幸区内の主な取組状況</p> <p>●資料1－別紙 事例紹介（抜粋）</p> <p>●資料2 これまでの区民会議における地域の魅力発信に関する提言と取組内容</p> <p>●資料3 他都市等における先行事例</p> <p>●資料4 部会名について</p> <p>●資料5 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会報告内容について</p> <p>●資料6 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて</p>
議 題	<p>1 地域の魅力発信に関する取組等</p> <p>ア 幸区内における主な取組状況</p> <p>イ これまでの区民会議における提言と取組内容</p> <p>ウ 他都市等における先行事例</p> <p>2 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討</p> <p>3 部会名について</p> <p>4 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会報告内容について</p> <p>5 今後のスケジュールについて</p>

<p>決定事項</p>	<p>1 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討</p> <p>今後の取組の方向性として、次の2点を決定した。</p> <p>(1)幸区の魅力となる地域資源の調査</p> <p>(2)対象を意識した効果的な情報発信手段の検討</p> <p>2 部会名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会名は「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」に決定した。 <p>3 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会からの報告内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立候補により伊藤委員を報告者とし、報告内容案（資料5）を承認した。 <p>4 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料6により今後のスケジュールを確認・共有した。
<p>会議の内容 及び 主な発言</p>	<p>1 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事務局より資料1・2・3について説明した。 ○今後の取組の方向性として次の2点を決定した。 (1)幸区の魅力となる地域資源の調査 (2)対象を意識した効果的な情報発信手段の検討 <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力発信に関する取組がたくさんあるが区民に知られていない。その原因を知る必要があると思う。また、取組を知ってもらい、その魅力をより重厚にしていくべきだと思う。 ・取組が単発で終わるのではなく、取組を積み上げていくことにより、PRに繋がると思う。 ・市外の人に効果的にPRするためには、どのような人に知ってほしいか、ターゲットを決めて発信することが大事だと思う。また、区民については、地域の魅力を再発見しPRするなど、発信が重要だと思う。 ・ただそこに魅力がある、と言っただけでは人は来ないと思う。発信の仕方を工夫する必要がある。 ・生田緑地のサマーミュージアムは様々な世代が楽しめるイベントが多かった。これによりたくさんの方が生田緑地に来ており、PRになっている。このようなことから誰でも楽しめるイベントがあるなど、ただ魅力があると発信するだけでなく発信の仕方が大事だと感じた。また、住んでいる人（区民）が良いと思わないと取組も続かないと思う。 ・若い世代に向けて、幸区は「こんなに楽しい区」であることや、「住み続けられる区」であることをPRしたらどうか。 ・幸区には自然もあるし、芸術や学問もある。しかし、他の地域と比較す

ると、どれも魅力として弱いと思える。

- ・幸区の魅力は、「暮らし」や「住む」というところではないだろうか。それらに関してのコミュニティや魅力はたくさんある。「自然・芸術・学問」はあくまでも魅力のパーツで、核としやすい「暮らし」は幹。
- ・幸区には、南河原地区、御幸地区、日吉地区の3つの地区があるが、3地区それぞれの魅力をPRする。例えば御幸公園に施設をつくって、魅力発信拠点にする。
- ・幸区は公園以外にも多摩川があり、ロードレース系のイベントの開催にも向いていると思う。
- ・夢見ヶ崎動物公園に動物の動画を流せるところをつくったらどうか。
- ・効果的に魅力を発信するためには、ターゲットを絞るべきだと思う。
- ・幸区は、交通の便が良く、商業や医療も充実しているなど、いろいろなものがそろっていて便利であり、コンパクトで住みやすいといえる。また、地域コミュニティも充実している。このため、幸区は「暮らしやすい区」と言えるのではないか。「暮らしやすい区」を発信したらどうか。
- ・「暮らしやすい区」のなかには、地域コミュニティも子育て支援も含まれるので、B部会の審議テーマとして良いと思う。

3 部会名について

●事務局が資料4について説明した。

○資料4の候補名案①の「魅力発信でまちの活性化」に「つなぐ」というキーワードを入れ、「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」で決定した。

【主な意見】

- ・「魅力」というキーワードは外せない。また、「発信」「地域コミュニティ」も重要だと思う。
- ・①の「魅力発信でまちの活性化部会」が良いのではないかと。
- ・1つ1つは良い取組をしているが、つながっていない。有機的なつながりが必要なのではないだろうか。
- ・区民が愛着をもつ、関心を持つということが大事ではないかと。
- ・「つなぐ」というキーワードを入れて「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」はどうか。

4 第6期幸区区民会議（第2回）におけるB部会報告内容について

●事務局より資料5について説明した。

○立候補により、伊藤委員が報告者となり、報告内容は案のとおり承認された。

5 今後のスケジュールについて

- 事務局より資料6について説明した。
- 今後のスケジュールについて確認・共有した。
- 1月以降の開催予定については委員の意見を踏まえてこれから調整することを確認した。

以上